

最上川

山形県倫理法人会
広報もがみがわ
平成 28年 8月 29日
www.yamagata-rinri.net

volume
46

笑顔の伝承。



平成28年度 会長挨拶 五十嵐 慶三
3年間良かったなあ…今だに実験中! p.2

第24回 プナ文化フォーラム
東北が誇る雄大な山塊、蔵王連邦の懐に包まれて p.4-6

倫理経営企業訪問・えがおのげんば
秋山鉄工株式会社 p.10-13

平成28年度 **14単会 PICK UP通信** p.14-20

- 平成28年度 幹事長挨拶 p.2
- 委員会におじゃまします「青年委員会」p.7
- 山伏修行体験塾 p.8-9
- 女性倫理講演会 p.21
- 活力朝礼コンテスト p.22-23

広報 最上川 volume 46

【発行】山形県倫理法人会
【発行人】五十嵐慶三【編集人】五十嵐久仁子

【表紙題字】中村俊光氏

TOPICS

家庭倫理の会山形 設立25周年記念式典が 盛大に開催されました!



去る6月12日、パレスグランデールにおいて、「家庭倫理の会山形設立25周年記念式典並びに祝賀会」を挙行いたしました。

当日は、山形の地に分会場も無かった頃から、お力添えをいただき、協力していただいた法人会の方々にも沢山おいでいただき、当時の写真をスライドで見ながら、楽しく草創期を振り返る事ができました。昨年11月、私は倫理研究所創立70周年記念式典に参加させていただきました。その時に、丸山敏秋理事長は、式辞の中で「終わりはない」「節目は次の始まり」「創始の原点に帰る」と、言われました。そのお言葉を聞いた時に、私共の会も今年度設立25周年の節目である事に気が付き、今回の開催に至りました。

例えば、山形県に倫理の灯がともってからの現在まで、多くの諸先輩や、倫理研究所の役員の方々にお世話になり、今日まで続けてくることができました。

私達は、これからもっともっと山形人としての誇りと自信をもちながら、山形の各地に倫理の渦をいっばい作っていきたいと思います。「家庭倫理の会山形」は、常に山形県倫理法人会様のご理解とご協力をいただいております、この融合が今日の発展となったことは間違いありません。これも山形県の倫理運動の大きな特徴であることに感謝申し上げます。そして、今後とも宜しくお願い致します。

家庭倫理の会山形 会長 千葉真弓



発行 山形県倫理法人会
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47
TEL.023-647-5582
FAX.023-646-7660
www.yamagata-rinri.net
発行日 平成28年8月29日



編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長 五十嵐久仁子

8月9日、28年度達成報告会に出席しました。残念ながら、目標の1650社には達成しなかったのですが、高橋普及拡大委員長から、山形県の企業普及率3.7%は全国で2位の高い数値だという素晴らしい報告がありました。また、拡充活動報告会では、期首会員数を上回った各単会会長(天童市、鶴岡市、山形市中央、北村山)からの詳細な事例報告がありました。

印象的だったのは、多くの企業様を入会させてきた「強者」と呼ばれる方でも、最初は普及がたまたま嫌で嫌で仕方がなかった、という事。それがなぜか「心から普及が楽しい」と思うようになる…どこでそのスイッチが入ったのか、心の変化が実に興味深いお話でした。

共感ポイントが2つありました。「普及をきっかけに、たくさんの方の企業を回ると、良い会社、悪い会社の特徴が見えてきて勉強になる」という事。もうひとつは「頑張っている仲間の姿を

みて応援したくなった、一緒に頑張らなくなった」という事。スイッチはどんな形であれ、数多く訪問していくうちにどうしても倫理をお勧めしたいと、心からの普及に繋がっていくというのでした。

目標がある以上数字の必達は苦しみを伴う命題ではあるのですが、このプラスのスイッチが入った面々の言葉からは、苦しささえも楽しんでるように感じました。

明るく前向きで活気に溢れた報告会とその後の懇親会。目標を達成していないのに、なぜかこれまでに無いほどのエネルギーに満ちていました。この勢いを受け私達も「倫理の楽しみ方」を広く伝えられる広報委員会になりたいと思いました。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



3年間良かったなあ… 今だに実験中！

山形県倫理法人会 会長 五十嵐慶三



創立20周年を記念して発刊された、記念誌「やまがたの倫理」、第2章、座談会のテーマは、「われら山形の未来」、10年後を予測、当時の若手メンバー（今も充分若い）による近未来の姿が映し出されています。県内14箇所、各単会会長を中心に、それぞれ主役となって、特徴ある会組織運営を奨励してまいりました。いかなる時代になろうとも、正しく学び、しっかりと実践することにより、まことの喜びによって得られた報酬を、世の為人の為、地球上のあらゆる「全ての安泰」を最高目標にしていかなければなりません。

現実、全世界で大規模テロが相次ぐ中、銃撃戦や重大な殺傷事件なども没発し、日本人が巻き込まれる可能性も徐々に拡大しています。東日本大震災以降、どこでもまた大地震が起こるとも限らない

「大変動の時代」さらなる「新」に挑む、確固とした活動基盤づくり、地域に根差した倫理法人会組織へと、進化していかなければなりません。

今年で24回目を迎えた、「ブナ文化フォーラム」、霊峰蔵王が魅せる「大パノラマ」、人として活かされている喜びを、大自然の息吹を間近に感じることに、改めて気付かされました。倫理法人会活動も、監督所轄が一般社団法人へと変わり、自己責任で事を行っていかねばなりません。全国7万社体制に向け、普及基盤も強化されてまいります。そうした中、山形県倫理法人会は、日本の素晴らしところ、山形から地方創生、日本創生に寄与貢献、高度産業社会に潜む負の要素を抉り出し、「教

育再生に資する活動」に力を注いでいかなければなりません。事業の上でも、家庭内でも、地域社会においても、周りに良い影響を与えるヒトづくり、山形県内において「真の実践者」が大半を占める「通称…やまがたびと」、組織体の基盤を倫理法人会に求め、「純粹倫理」の学びを拡め、真の倫友の拡充に努めていかなければなりません。3年間の活動のポイントは、「己の立つ位置を変える」、目の前に津波が押し迫ると、過去形や未来形ではなく、咄嗟に行動が変わる、現実を受け入れるという事、周囲が懸命に取り組んでいる中、自らの立つ位置が問われていることに気付く。判らない、

見たくない、関わりたくない、目をそらす私たち誰もが、実は当事者なのだと思わされます。倫理の普及のイメージがもたらす無理解は、実は偏見や噂も含め、一番の足かせとなっているのです。集大成の最終年度、「倫理の楽しさ」に視点を絞り、時折立つ位置、角度を故意に替えず、実験中。まだまだ先は見えておりません。研究仲間の皆さま、白衣の袖口がポロポロに擦り切れるまで、やり続けましょう。

3年間、ありがとうございました。

3年を振り返って

山形県倫理法人会 幹事長 原行雄

1. 倫理研究所の事業方針

平成26年度から28年度までの3年間の倫理研究所事業方針で大きな転換が行なわれ、法人局活動方針も大きく変わりました。平成26年度は、「全国10万社体制確立」に向けて普及拡大が中心でした。創立70周年記念の平成27年度は、会員企業10万社体制にふさわしい組織構築をめざし倫理経営の普及・教育に努めると、又、平成28年度は、平成32年度（2020年度）までの5カ年の基本方針を「更なる新」に挑む」と定め、積極果敢に活動を展開し、5カ年計画「ゆるぎない7万社体制確立」に向けて、「堅実な普及活動による確実な成果」を実現するための活動を展開する方針が示されました。

2. 山形県の活動方針

山形県も、この方針を受け活動を展開してまいりました。県は、県内14単会の応援団という立場で、山形県内を村山A・村山B・置賜・庄内と4ブロックに分け、それぞれに副会長の4人をブロック長として配置してブロック内

の統括指導をお願いしてまいりました。又、7つの委員会が連携しながら普及拡大から普及拡充というキーワードで各行事を展開していただきました。

3. 各委員会の活動

普及拡大委員会は、各単会の普及目標達成のため普及活動の動きをより具体化して普及拡充が計画通り進むよう、情報交換を行い、具体的な対策を企画立案して支援をしました。おもしろ経営塾の開催、ダイナマイト2Kコラボ講演会の開催、ビッグな講師による講演会の開催等です。

モーニングセミナー委員会は、「経営者モーニングセミナーマニュアル」に沿った運営を展開するための研修会の開催、出席者数の増大を図るためのスタンプラリー表彰をして他単会との交流を推進しました。

研修委員会は、「経営者の集い」「倫理経営基礎講座」「富士研経営者倫理セミナー」「宮城倫理経営塾」への参加を

開催して女性層の仲間づくり、交流を深め新しい会員の獲得を目指しました。

青年委員会は、若手経営者や後継者を対象にした山伏修行体験塾、コミュニケーションセミナーの開催等を計画して、若手の連帯の和を拡げて会員の獲得を目指しました。

平成28年度は会長経験者等の交流会「山形県キャリア会長会」を立ち上げ、役職の経験と知識、人脈を活動に生かす山形県倫理法人会の活性化に今後貢献するものと確信しております。

4. むすびに

最後に、五十嵐慶三会長と3年間コンビを組み、倫理運動を体験する機会をいただき、会員、役員の皆様のご協力を賜り、1番身近な家族に支えられ幹事長職を3年間元気健康で努めることができ、喜びがいっぱいありました。この喜びこそ自分自身の気づきでしたし、前進の糧となりました。

次年度の平成29年度は、設立25周年の年度です。安藤政則県会長、水沢正志幹事長体制で益々のご発展をお祈り申し上げます。

会員の皆様の幸せと、会社の益々のご発展お祈りし、御礼といたします。誠にありがとうございました。



広報委員会は、倫理法人会の活動を広くPRするためホームページ充実、各種広報活動を図り、地域、会員他県民に広く情報を伝達しました。特に年4回発行の会報「最上川」の充実を図り、別冊「女性版」ワイルドフラワーズの発行を平成28年度から始めました。

女性委員会は、4ブロックの特徴のある行事、近県女性委員会交流会、「女性倫理講演会」等を



を上げたトニー・ザイラーの顕彰碑「交流の門」など、著名人の足跡が随所に残っています。

ブナは、沢山の葉で雨水を集めると、葉では吸収せず枝幹を伝ってじわじわ中に水分を蓄える特性の樹木との事。自分を使い切る健気なブナの習性には感動すら覚えます。(詳しいブナの説明は20ページ、上山市谷江専任幹事の記事にて)片貝沼、ドッコ沼はエメラルドグリーンと深い紺色が混じり合った不思議な色で、静かな水面に稜線のシルエットが映り込みどこ



から見ても絵になる風景です。ちなみに「ドッコ沼」は、沼に住んでいた竜を鎮める為に覚山法師が呪文を唱えながら金剛杵の独鈷(どっこ)を投げ入れた事により名がついたそうです。最後に蔵王大権現にお参りしてトレッキングの無事を感謝しました。

ロープウェイ発着場でお世話役に徹しました。



第24回 ブナ文化フォーラム 東北が誇る雄大な山塊、 蔵王連峰の懐に包まれて

平成28年7月16日(土)～17日(日)、山形県倫理法人会ならではの独自企画、ブナ文化フォーラム。今年には村山Aブロック(山形市倫理法人会/山形市蔵王倫理法人会/山形市中央倫理法人会)が主幹となり、蔵王四季のホテルを会場に開催されました。

蔵王中央高原からのんびり
3時間の散策へ

1日目、早速10時よりトレッキングを開始。前日まで雨が降り天候が心配されましたが、日頃の行いが良い人が集合したからでしょうか。曇り時々晴れの過ごしやすい天気に恵まれました。2班に分かれて標高1300m～1400m付近、中央高原散策路コースを歩きます。



植物の宝庫で、50m歩いては立ち止まり花々の説明をお聞きする事ができました。

15分歩いた紅葉峠に、高松宮妃歌碑「朝日さして紅には雪ふかき蔵王の山の樹氷の林」。さらに15分歩くと、元スキーマの名選手で、引退後は映画俳優として蔵王の魅力



基調講演「四季感動の蔵王連峰」

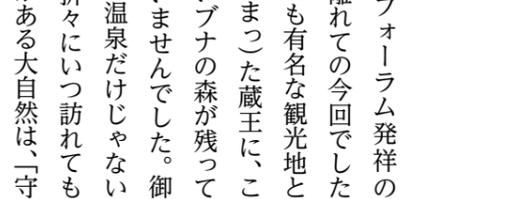
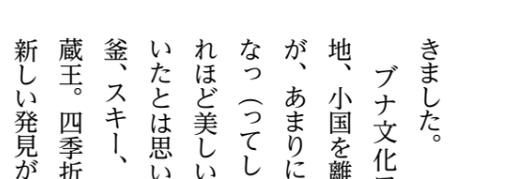
午後は蔵王山岳インストラクター協会副理事長 伊藤仁氏によるフォーラム基調講演「四季感動の蔵王連峰」が開催され、四季の蔵王を切り取った美しい画像を拝見しながら歴史や自然についてご説明いただきました。蔵王の名が全国に知られたきっかけは、昭和26年毎日新聞主催の「日本観光地100選（山岳の部）」でハガキ投票の結果、200万票でダントツの1位になった事でした。それ以降、マスコミや白洲次郎氏などのお陰で地元が全国に知られていき、さらに国民保養所として全国で最初に認定され有名企業の保養所も続々建てられたとの事。（今では殆どが撤収しましたが…）



スライドには美しい自然の彩りが次々と現れます。春から夏にかけての花々、ノビネチドリ、ウラジロヨウラク、絶滅危惧種のアズマギク。夏の終

わりを告げるエゾヤマリンドウが咲き始め、やがて一面黄金色の草紅葉になる。蔵王の美しい紅葉。ブナは綺麗な黄色に色づくが、あつという間に役割を終えて茶色になり土に還る。片貝沼に薄氷が張り、鏡のような水面に三宝荒神山が写り込むと冬の始まり。蔵王の象徴、樹氷は雪の塊ではなく、朝日山系を通ってきた水蒸気がアオモリトドマツにぶつかった衝撃で凍り「えびの尻尾」が何層にも積み重なってできた「氷」なのだそう。様々な環境変化の影響で樹氷の形も崩れかけてきている昨今ですが、何とか力を合わせてこの蔵王の自然を守り子孫に残していきたいと締めくくられました。

夜はブナ文化フォーラム恒例の大懇親会です。お料理は蔵王牛の陶板焼が豪華な「夏の蔵王山懐膳」。そして舞台では7チーム対抗のゲーム大会が行われ、童心に帰って真面目にゲームを楽しみさらに二次会、三次会（？）へと続き交流を深めました。



青空モーニングセミナー

翌朝は6時半から、蔵王の山々に囲まれた凜とした空気の中モーニングセミナーを行いました。冬シーズンピック蔵王誘致を願って走り回ったという五十嵐会長の思いのこもった挨拶から始まり、3名の会員スピーチをお聞きました。

鈴木隆一県相談役の幼き頃の蔵王の思い出と、四季にたどえた人生のお話。秋山周三鶴岡市相談役から、子供達に「ものづくり」精神の種を蒔くための様々な取り組みのお話。宮下徹県朝礼委員長からは、山の命を頂いて生活する地元民が草木の魂を鎮める為に作ったという「草木塔」の存在を伝え継ぐ、米沢の取り組みについてお話いただき



きました。ブナ文化フォーラム発祥の地、小国を離れての今回でしたが、あまりにも有名な観光地となつ（つてしまつ）た蔵王に、これほど美しいブナの森が残っていたとは思いませんでした。御釜、スキ、温泉だけじゃない蔵王。四季折々にいつ訪れても新しい発見がある大自然は、「守る」という意識がなければ、今は悪い方に変化していくものなのだという事も学び知る事ができました。

最後に、これほどの充実したプログラムを計画、実行して下さった柴田津與志プロック長をはじめ、村山Aブロック各単会幹事の皆様、本当にありがとうございます。



7つの各委員会ではそれぞれ明確な役割のもと、単会の垣根を越えて一丸となった活動を行っています。

青年委員会

委員長／佐藤正廣（有）佐藤正栄堂
副委員長／井上福寿昭 心月

恒例となった山伏体験塾に加え、今年は コミュニケーションセミナーを開催しました。

「立川談四樓の話し方講座」

6月18日（土）に山形市の山形国際ホテルにて青年委員会事業のコミュニケーションセミナー「立川談四樓の話し方講座」を開催いたしました。当日は飛び入りの参加者もあり、セミナー後の懇親会まで楽しくコミュニケーションを学ぶことが出来ました。

これまでに青年委員会の事業といえば、今年で5回目となる山伏修行体験塾を継続して行っているだけで、他にも、これといった委員会の事業がありませんでした。山伏修行体験塾にしても、開催地である月山の山開きの日程上、どうしても夏の開催になり、倫理法人会の年度後半に1〜2回実施するため、年度前半は委員会自体が半ば冬眠しているかのような状態でした。

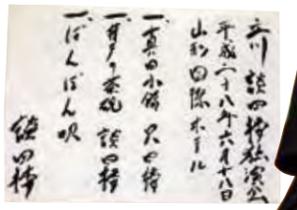


これではいかん！と今年度は、青年委員会の「青年」の文字に恥じぬよう挑戦的かつ実験的な試みとして、新規事業を行うことといたしました。その事業が今回開催したコミュニケーションセミナーです。倫理の普及に、倫理法人会の運営に、会社の健全な発展に、欠かせないコミュニケーション技術、これを青年倫友が中心となって、皆で学び、身に付けようという趣旨です。

一般的に対人コミュニケーション、つまりは他人との話し方と来れば、日本の話芸「落語」だ！という若干、安直な考えながら、落語家・立川談四樓師匠を講師として招聘し、緩急、抑揚取り混ぜた自在な話し方を学ぼうと年度当初に委員会で協議した際には、予算の兼ね合いもあり、定員は30名か？いや、もっと来るのではないか？80名では？それでは予算が…等々のやり取りがあり、定員50名と決めました。残念なが

ら動員の点では予定数に達しませんが、当日のセミナー会場は熱気に溢れ、良いセミナーになったかと自負しております。

倫理と落語という取り合わせには、ご批判の向きもあろうかと思えます。純粋倫理と演芸にどんな関係があるというのか？倫理法人会の趣旨とは違うのではないか？このような意見を頂き、庄内ブロックで5年にわたり開催している「庄内りんり寄席」でも議論がありました。しかし、永く語り継がれた話芸には、これまで多くの先人の共感を呼び、支持得てきた日本人の感性、生き方が色濃く出ているものであり、それは純粋倫理に通じるものがあるのではないかと私は思います。論より証拠、まずは実践という事で次回、開催の折には今回よりもましての多く倫友のご参加を宜しくお願いしております。



山伏修行 体験塾

YAMABUSHI

ほたるしめく 蛍塾



7月の「蛍塾」8月の「花火塾」 今年の山伏修行は2回開催

日本人として11人目の宇宙飛行士、大西卓也さんがロシア・バイコヌール宇宙基地からソユーズで国際宇宙ステーションにある日本の実験棟「きぼう」に向けて飛び立った日、7月7日から翌8日にかけて、今年



で五回目となる山伏修行体験塾を羽黒で開催しました。昨年と同日、同人数での開催になにやら因縁めいたものを感じますが、深い意味はありません。実は、今年の開催日は、昨年の第四回開催の折に体験塾の指導を頂いてる先達山伏から、温暖化の影響か？羽黒山の麓を流れる祓川の蛍が増えて、また発生時期も早く



なり、7月初旬から中旬が見頃の話聞き、昨年の内から心に決めていたのです。それは2013年のこと、第二回山伏修行体験塾参加の折に、鼻をつままれてもわからないほどの漆黒に包まれた羽黒山中で、私が座禅を組んでいるとおぼろげな光を発し、羽黒名物の杉並木の中を縫うように飛ぶ一匹の蛍を見たことがきっかけでした。闇に舞う蛍に感動した私は決めていました、山伏修行体験塾に参加する人も同じ感動を味わって頂くと。



苦行を一緒に乗り越え深まる 参加者達との交流

さて、開催当日は、あいにくの小雨模様。梅雨時期の開催ですから、ある程度、予測はしていたものの、今年度参加者には、かえって困難な方が、修行の成果も大きいただろうと前向きに考え、峰入りに考へ、峰入り式（開塾式）です。毎年思うのですが、出身地も職



種もてんでバラバラにやって来る参加者も、修行中の装束である白装束に着替えると、どこか引き締まり、連帯感が生まれて来るように見えます。また修行を終えて出生式を迎える頃には、修行仲間がまるで旧知の友のようになっているのです。事実、私もこの体験塾で一緒した県内各地単会の方とは、いまだに交流があ

ります。県内各地の倫友との交流を求める方にも是非にとお誘いしたいところです。そして、肝心の修行体験。今年の参加者の日頃の行いか？羽黒権現のご加護か？修行行程中は降雨も少なく、懸念された月山の天候も荒れることなく、参加12名、誰も脱落することなく全ての修行を完遂いたしました。肝心の蛍は気温が低すぎて見れなかったという話も参加者の方からありましたが、そこはそれ、来年参加の良い口実が出来たものと前向きに考えております。

最後に、ここまでお読み頂き、不参加を後悔されている方にお知らせいたします。今年度はチャンスがもう一度、8月10日締め切りで「花火塾」が開催さ



れます。奮ってのご参加をお待ちしております。 ※記事は8月15日作成のものです。8月19日～8月20日に、第二弾の山伏修行体験塾「花火塾」が開催され、20日の赤川花火大会で一層の感動を分かち合いました。



えがおのげんば



■ えがおの人
鶴岡市倫理法人会 相談役
秋山 周三 氏
昭和25年 鶴岡市生まれ
血液型 B型



■ えがおの現場
秋山鉄工株式会社

[代表取締役] 秋山周三
[創業] 大正11年
[所在地]
本社工場/鶴岡市宝田1丁目10-1
日本国工場/鶴岡市日本国254-6
[事業内容] 真空容器/カメラ、
メガネ用レンズ/光学用フィル
ター/大面積液晶・太陽電池
透明導電膜の形成/CD・LD/
切削工具・腕時計・超高硬度の被
膜など各種製作



創業94年、真空装置の製造組立業をメインに事業を展開する秋山鉄工株式会社は、昭和47年、鶴岡中央工業団地第1号として現在地に新工場を建設しました。三代目として、また鶴岡市倫理法人会の相談役として多忙な毎日を送る秋山社長を訪ねると、その日も草取りの真っ最中。「秋山流」のユニークな仕掛け話に、経営者としてのヒントを垣間見ることができました。

倫理との出会いは

倫理法人会に入る前はモラロジ―研究所に所属していましたが、ある時「職場の教養」を知り、「これはいいな」と思ったんです。そこで、「職場の教養」をもらうため平成2年に倫理法人会に入会。とはいえ、まだ山形県に倫理法人会は存在していなかった頃。東京都墨田区倫理法人会

の会員になりました。そうするうちに「山形県に倫理法人会をつくるから、そちらのほうに転籍してほしい」と本部から打診されたんです。山形県に発足してから数年後、今度は鶴岡に法人会を立ち上げることになり、会長職はお断りしていたんですが足繁く通ってくださっていた晋道純一さんに騙されて(笑)会長を引き受けました。

「前と同じ」は 後退の始まり

朝礼は倫理法人会に入る前からやっていましたが、今は倫理の推奨する方式を取り入れています。やつてもやらなくても同じような朝礼をしていた30年前、どうにか朝礼の仕方を変えていきたいと思いましたが、私のやり方はそう簡単に社員たちに受け入れてもらえませんでした。

た。私は総務部長という立場でしたが、朝礼を変えることに対して露骨に嫌がられたり、「やつてられない」と会社を辞めてしまった社員もいたくらいですから。当時はオイルショック直後。「このまま潰れてたまるか」という思いもあり、朝礼一つを変えることで経営面にも良い影響が与えられると信じ、提案し続けました。「昨日とは違う視点を持って動いてほしい」と朝礼でも時々話



職場ごとの朝礼の時はお互いに身だしなみチェックを。

しています。「前と同じ」というマンネリした考えは後退の始まりです。常に新しい方法を見つけていくことが大事だと思っています。

4つの行動が 人間力をつくる

今こそ必要なのは「人間力」だと思います。人間力をつくるのは「挨拶」「返事」「掃除」「感



祖父からの二つの教え

創業者である秋山好市の仕事に対する思いは、大きく分けると二つありました。一つは「人のマネをしないで独創的なものをつくる」こと。二つ目は「日本は資源のない国だから、頭を使って常に発明や考案をしていく。そうして考え出した『種』は、未来ある子ども達に蒔き育てていかなければならない」ということ。一つの思いは好市の長男が、二つ目



ラジオ体操に秋山鉄工オリジナルの体操を加えて。指先まで揃えてきびきびとした姿が清々しい。

謝」の4つ。簡単なようで、この4つをすべてしっかりとできる人は非常に少ないです。「挨拶」「返事」「掃除」は言葉や行動で伝えることができず、「感謝」は心の中に秘めるだけでなく「ありがとう」という言葉にして伝えることが大切。もちろん、これ以外に大切なことをあげればキリがありませんが、これらのことをできて不幸になった人は一人もいないと断言できます。

経営が厳しくなると、敷地が荒れてくる

外周りを見ると、その会社の経営状況がわかるというのが私の持論です。社員も部署毎、9年前から週に2〜3度、会社の周りと道路を挟んだ向かい側の隣の土地まで草取りをしています。ここは、工業団地にしては珍しく小・高校生の通学路になっており、朝夕の散歩者も多いです。工業団地に入っているすべての会社が、素晴らしい技術を持つものづくりをしていることを自分たちはわかっていても、子どもたちにはどんな仕事をしているのか想像すらつ



かないはず。彼らの「良い会社」の判断基準は見た目です。草が生えていて雑然としていたら、「この会社はいい加減だ」と感じるでしょう。そうした世間の目を少しは気にしつつ、会社の敷地内と歩道の草取りをしようと団地内で呼び掛けてきました。全国の工業団地を回っていますが、雑草とゴミがいちばん少ない団

地だと自信を持っています。それも、行政主導でなく自分達の手でこれほどきれいにしている所は他にないですよ。「うちの工業団地がいちばんきれいだと思う方たちは手を挙げてください！北海道でも沖縄でも必ず見に行きますから。」と諸所で言っています。(笑)

工業団地の秘密基地を整備

鶴岡中央工業団地は鶴岡駅の北口に隣接しています。県内外からやってくるお客様がまず目にするのが工業団地内にある公園。昔は園内の池も整備され憩いの場でしたが、今はすっかり草ぼうぼう。その様子を見たら、お客さまはマイナスのイメージを持ってしまってしまう。そこで、何とかきれいにしたいと思い、仕事の合間に一人で草取りをしています。でも、個人でやれるレ



↑ (BEFORE) 雑草が茂った草刈り前の敷地 (上3点)。↓ (AFTER) よみがえった芝生



ベルではなかったもので、公園の草取りを請け負うことにしました。造園会社のプロにお願いするのはなく、道具も使いやすいように造り、うちの社員がやっています。わが社の新規事業ですね。(笑)

子ども達に製造業に触れてもらう場を提供

当社の見学に小・中学生が来ることがあるので、「将来何になりたい?」と聞いてみると、男の子からは警察官、消防士。女の子からは花屋さん、ケーキ屋さん...という答えが返ってきます。知っている、接したことがある職業には憧れますが、見たことのない我々のような製造業は選択肢にもないわけです。私は「製造業はおもしろい」と言ってもらえるように、見学や実習等を通して製造業に触れてもらう機会をできるだけ提供していきたいと思っています。敷地内にある日本国末端技術研究所の中に併設している「鶴岡少年



ビッグバンドも演奏できるスタジオが社内に。

少女発明クラブ」も同じ思いで35年前に発足したものです。発明クラブに長く通っている子たちの中には、中学入学と同時に「地元の工業系の高校を目指して頑張る」という子どもたちがいます。「鶴岡に製造業を残したい」「子ども達に未来を創る力を養ってもらいたい」、この2つのことをテーマに自分ができる範囲で支援していきたいと思っています。

承継は子供の頃から意識させる

講演会等で話をさせてもらうと、「後継者問題」について聞かれることがよくあります。私自身は息子たちに「きついことも多いけど、サラリーマンでは味わえないおもしろいことがいっぱいあるよ」と小学生の時から

鶴岡市倫理法人会へのエール

話して聞かせていました。息子たちは小学校を卒業する頃には会社を継ぐことを決めていたようです。小さい時から家庭の中で「こんな因果な商売」とか「こんな儲からない商売しててもねえ」と、マイナスの言葉かけられて育ったら、子どもはその会社を継ぎたいと思わないですからね。

鶴岡市倫理法人会は若い人や女性が多く活気があります。「やると決めたなら、しっかりとやること」と伝えたいです。

おまけのイイ話

我が家では、子どもが小さい時から毎食後に「ごちそうさま」の他に、「お母さんとお祖母ちゃんは料理が上手だのう」と感謝の気持ちを伝える習慣があります。言い続けたら本当に妻の料理はおいしくなって... (笑) そう言われると、妻のほうも上手くなるとうするんですね。

おまけのイイ話

社員全員、富士研に参加し研修を受けています。会社からの指示ではなく個人的にここ10年の間に20回ほど行っている社員もいます。研究所の相談員の資格も持っているんですよ。

OFF

の過ごし方は?

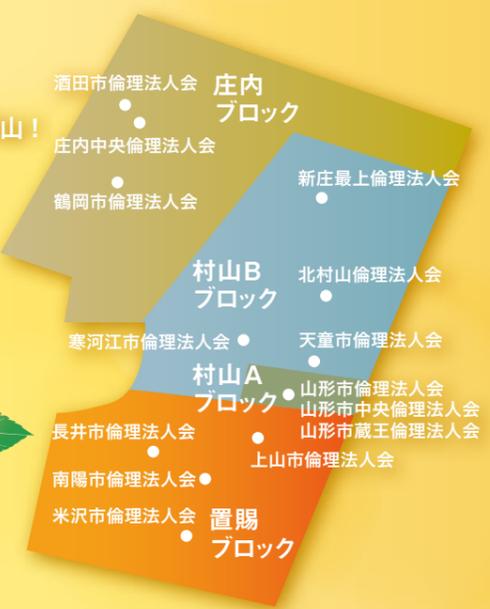
休日も草取りをしています (笑) 自宅や家の前を通る市道の街路樹周り、近所の一人暮らしのお年寄りの駐車場など。時間があれば草取りをしていますよ。



「2枚引いて」とトランプのように渡されたハガキ風の名刺。デザインは30種以上あるそうです。



加茂水族館で実際に販売した「鶴御菓子(キクラゲ入り)マッチオコシ」。ユニークな説明書に笑いがこぼれます。



14単会 PICK UP 通信

モーニングセミナー以外にも
会員同士の交流の場がこんなに沢山！
活力に満ちた活動や、
気づきの実践をご紹介します。

各単会ではいつでも
皆様を温かく
お迎えします！



鶴岡市 倫理法人会 [気づきの報告]

活力朝礼について

朝礼委員長 伊藤暁生



4月の下旬、鶴岡市倫理法人会で初めての試み、「活力朝礼オリエンテーション」を行いました。倫理法人会の会員ではあるけれども活力朝礼って何？と思ってしまう方や、取り入れたいけれどもやり方がわからない…。そういった会員の方々に是非活力朝礼の素晴らしさを伝えたいと思い企画いたしました。当日のプログラムは、倫理法人会とはから始まり、実際に活力朝礼を取り入れた会社の方にお話し頂き、どのように変化していったか等をお話頂いた後、実際に声と体で体験いただくという内容を考えておりました。そして迎えた当日。参加して頂いた企業の方達は皆さん活力朝礼を取り入れている企業様でした…。これにはスタッフ側もビックリ。急ぎよ内容を切り替えて活力朝礼のポイントを、実践を交えながら行う方向にさせて頂きました。一通り終わった後は、質問タイムを設けて各企業様に質問頂きました。マンネリ化を防ぐにはどうしたらいいか？という悩みには、ビデオをとって客観的にみるとまた違って見えますよというような意見があったりと、何かしらの参考にはなったのではないかと思います。

今回は私の未熟さが際立ち、皆様に満足いただけただけは微妙でしたが、これからも活力朝礼を取り入れる企業様が増えるよう努力していきたいと思えます。

南陽市 倫理法人会 [気づきの報告]

専任幹事職も 早や三年目

専任幹事 青木勲



倫理の教えに従い「ハイ」の二文字で、南陽市倫理法人会専任幹事の職を、いただいて「マアなんかかなるだろー!!」と、いつものアバウトな考えと、事務長時代に少しかじったという経験でスタートを迎えて、一ヶ月もしないうちに、次々と各委員会やモーニングセミナーの準備等と、想像以上の忙しさに自問自答。

まずは、自分一人で出来ることなど、いささかな事しかない!!ならば会運営に、しっかりと各担当者に活躍してもらわねばと、会長だろーが誰だろーが、俺の言うことを聞け!!とばかりに号令係に变身。相当間違った号令もあった苦ですが、弱小専任幹事を役員の皆様が、全力で事に充てていただき何とか、その都度クリアできたと感じております。

「苦難は幸福の門」この言葉は倫理活動だけでなく、人生に掲げて生きたいと思えます。



米沢市 倫理法人会 [イベント報告]

米沢市役所前花だん「米夢ロンド」の植栽作業

広報委員長 鈴木総一



今年4月より始まった米沢市役所前の花だん「米夢ロンド」も4月に植栽した花が一部見ごろを終えたこともあり、2度目の植栽作業を7月9日(土)に実施いたしました。

当日は天気予報どおりのあいにくの雨降りの天気となってしまいました。が、それにもかかわらず午前8時の作業開始に合わせ、約30名のたくさんの参加者を集まっていたいただき、当会の会員でもあるエス・フローラルアートの代表の齋藤様の指示の下、みんなで分担し順調に作業することができました。なんと中川米沢市長も休日に



もかかわらずおいで頂き、作業に参加いただきました。植栽された花は米沢市内の障がい福祉施設の「栄光園」様で栽培されている、サルビア・日草草が合計約300株用意され、栄光園の皆さんには植栽作業にも参加いただきました。

雨天は作業としては残念でしたが、花木たちには素晴らしい恵みの雨。2日後に花だんの撮影のため覗いて見たところ活き活きと咲き乱れる花々が目に鮮やかに朝日に照らされておりました。また米沢市役所に来るたくさんの方々の目を楽しませてくれることと思っております。この度の植栽作業にご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

山形市 倫理法人会 [気づきの報告]

朝礼を続けること

広報委員長 国島潤一



先日、弊社内にて朝礼の研修を行いました。基本的には毎日朝礼を行っているのですが、現在のスタンスになったのはご半年位です。やはり半年位すると、若干マンネリ化してきたのを感じるようになり、今度はどんなスタイルがいいかと思案してまいりました。ちょうどそんな時、活力朝礼コンテスト決勝大会が行われると聞き会場へ見学に行きました。各参加企業様の本気の朝礼を見ることで、き、いい刺激いい勉強になりました。

自分達の型(スタイル)を変化させていきたいと思えます。また、モーニングセミナーや役員朝礼でも「あつ、そうだなあ。なるほどなあ。」といった気づきがあります。これは、来てみないと分からないことだと思えますので、多くの方に参加していただけたらと思います。

後日、弊社内で朝礼コンテストの録画したものを観たり、プリントの読合せといった簡単な研修を行いました。その中で気づいたのは、型(スタイル)も大切ですが、型(スタイル)も大切ですが、目的意識や意味を共有することが大切なのではないかということです。型(スタイル)は共有するための手段であって、その時々に合わせて変化していくものだ。今後も朝礼を継続し大切な部



倫理経営講演会を開催

広報委員長 秋葉正一

当単会の倫理経営講演会が4月25日に開催しました、昨年同様大勢のお客様に会場頂き心から感謝申し上げます。

今年度は朝礼実演を会員有志による「会員企業合同朝礼実演」としました。実演前に朝礼の目的等の紹介、朝礼実施後の会社内の効果など報告し、(仮称)庄内中央会社として活力朝礼の実演を致しました。ほとんど打ち合わせの無いままの実演でしたが素晴らしい出来で、毎日の朝礼が身に



付いている事に感動しました。

講演は法人スーパードバイザー(株) 夢代表取締役 金子袈裟巳氏による「岐路に立ついま、求められる経営者の気骨」との演題で行われました。朝礼の大切さのお話の時に会場全員でお互い向かい合って普段会う事のない人や社長、上司と向かい合い、笑顔になる練習で、緊張した中思うように笑顔に成れない人も居ましたが、心からの笑顔で「おはよう」の実践方法を教えて頂き、緊張の中でも笑顔に包まれました。演題も進み倫理法人会憲章や困難を乗り越えてきた事例をまじえお話しいただきました。目標は目的を達成する為の手段で夢を思い素直な心で、一歩前に終始一貫突き進む事が大切で、ピンチがチャンスとして生かす心のあり方を倫理の実践で形づくる事が大切と感じました。

いろいろな気づきを得大変有意義な時間だったと思います。たくさん参加を頂き誠にありがとうございました。

モーニングセミナー委員会の取り組みについて

広報委員長 真田節子

山形市蔵王倫理法人会は、モーニングセミナーにおいて『日本』を指しています。

1. モーニングセミナー委員会による「今月のテーマ」

モーニングセミナー委員会の発案です。常に新しいことを取り入れてみなさんの意識を高めたいという気持ちで活動してくれています。このテーマは、会員様全員にもお知らせしたい気持ちですが、その方法が見つからずにいます。この広報誌を通じて、ご理解いただけると嬉しいです。



2. 会長発案によるラジオ体操
これが始まって、からだがほぐれて活力が湧いてくるようになりました。



3. 役員朝礼の様子

4. 本番のモーニングセミナー



5. 荒井モーニングセミナー委員長のお話

私は、ただ先輩たちが努力されてきたことを引き継ぎ、脈々と受け継がれている「日本」という目標を達成できるように努力するのみです。その為には、しっかりと準備して、楽しい雰囲気づくりのサポートをしていきたいと思っています。



このように、モーニングセミナーが始まる前には、モーニングセミナー委員会の方たちのご努力があり、気持ちのいいセミナーに参加出来ることに誇りを感じました。

倫理で学んだ健康な心の経営

広報副委員長 松原洋

山形市中央倫理法人会に入会させて頂き、3年の歳月が過ぎました。私は生花販売という仕事柄、普段から朝が早いのですが、モーニングセミナーに参加して、役員を拝命されてからは、朝の5時半集合という事に、とても驚きました。初めの頃は正直「ここまで早くから起きて何の会だろう」と思っておりました。それが、回数を重ねるうちに、出席出来たその日は、一日が充実し、仕事の最中も決して眠くなったりすることがなくなり、むしろメリハリのある一日を送ることができるようになりました。

セミナーで聞く話も、本当に心に染み入る話が多く、28年度は当会新田会長の「責め心をもたない」事、晋道純一さんの「多柱経営」など、一生大事に実践していきたいと思えました。

現在、仕事の職責で仙台の営業まで管轄するようになり、また自宅は仙台にあるため、モーニングセミナーに参加できる機会が月に1〜2度になっしまいました。せっかく法人で会員になっているので、今は山形の店

舗の店長にも出てもらっています。私自身、倫理の勉強が企業経営にも、人材育成にもとてもいい影響をもたらすと確信したからです。



今年からモーニングセミナーに参加するようになった本人も、大きな変化が出てきました。まず、前向きに物事を考えるようになり、「素直」な心で、いろんな業務に取り組む姿勢になりました。また、自身の戒めとして業績偏重の中、「見遠回りのよう」で、実は長期にわたり事業継続を可能にする「心」の勉強のような気がしております。私は経営者ではなくエアリナーパイロットですが、数字の積み重ねは、人の活力でしか生まれたい事をはっきり学びました。

今後も、できうる限り機会を活かし、学んでいきたいです。

石の上にも三年 試し試され三年間

会長 早坂幸起

2013年の冬は記録的な大雪。設立のための会員拡大活動で、吹雪の中大石田の企業訪問をしている最中、当時高校三年生だった娘から志望の大学に合格したという電話がありました。あれから3年半、大学四年生になった娘から今度は希望の会社から内定をもらったという電話。自分の中ではあつという間の3年間でしたが、娘にとっては確実に成長した充実の3年間だったのかなと思います。同じ3年という時間軸を単純に比較することは出来ませんが果たして自分にとってのこの3年間は娘に負けないう時間を過ごすことが出来たのか？未だ自問自答の日々です。

しかしながら漠然と感じるのは、何年か後に自分の人生を振り返った時にこの3年間というのは非常に大きな意味を持つ時間になるかもしれないということ。特に努力して何かをやり遂げたわけではありませんが、会長職を3年間続ける事が出来たということだけでも意味があるのかも知れません。モーニングセミナー

にしても自分の事だけを考えれば、朝は起きられる時だけ、興味のある講師の時だけ行けばいいや...で済ませることが出来ます。でも立場をいただいた以上はそうはいきません。絶対に起きなければと思えば前の日がどんなに遅くても目覚ましの前に起きますし、必ず何か学んで帰ろうと思えば毎週講師との出会いが楽しくなります。



「日本 明朗な倫理法人会」を目指して常に明るさを意識し、地域の寺子屋となるべく種まきをし、会員同士の交流を楽しみながら会員企業を応援し、時には祖先や家族から命のありがたさを教えていただきました。覚悟を持って会長職を務めてまいりましたがまだまだ道半ばです。これからも土曜日のモーニングセミナーはお天道さまと一週間の約束をするかけがえのない時間として会を支えて参ります。3年間楽しい時間を本当にありがとうございました。

倫理を学んで思うこと

普及拡大副委員長 小関利一

毎週水曜日の朝、六時三〇分からのモーニングセミナーへ妻と二人で出席させて頂いております。

以前は妻も出席はまちまちでした。

今は二人で出席すると、妻からモーニングセミナー講師の感想を積極的に話すので、共通の話題で話が盛り上がり夫婦仲も以前より良くなっております。

万人幸福の葉の五、夫婦は一对の反射鏡。夫婦対鏡の中で「夫婦が互いに相手を直したいと思うのは逆である。ただ自分をみればよい。己を正せばよい。その時、相手は必ず変わる」と。確かにそう頭ではわかっていても、相手(妻)が悪いと思うとつい責めてしまいがちです。そこで反省反省の毎日です。「自分をみがき、己を正す」ことで相手が変わるのである。つまり、夫婦関係こそ発展(会社)の源であると耳にします。

倫理講演の中で、こんな話を思い出しました。苦境を何とか打開しようとした人に相談をしたところ、返ってきたのは意外な答えでした。それは妻や子どもに呼ばれたらすぐに「ハイ」と返事をすれば実践ですよとのことでした。経営で悩

んでいるのになぜ家庭環境のことを言われたのか、不思議に思ったとのこと、そこで夫婦仲は冷え切っていたので、「ハイ」と返事をするのは無理に思えた。しかし、ほかに打開策があるわけではないので、家庭内での実践に必死に励みました。そこで、夫婦仲が改善するのと呼応するように、会社の業績も徐々に回復していったとのことです。



丸山先生は、「夫婦の間のごは企業とは直接関係がないようだが、その実、大いに結びつきがある。夫婦間がごたごたしていたり、家庭内別居のような関係に陥りたりしていると、その事業がうまくゆかないことが多い」と。家庭内生活と事業経営はひとつにつながっていると思います。

私も妻を大切に、家族を喜ばせ、楽しませることが出来ないに経営者がはたして、社員や取引先の人に喜びを提供することが出来るでしょうか。最後に、事業の発展に、夫婦仲の良

倫理経営講演会に携わって

広報副委員長 開沼弘男

今年の寒河江市倫理法人会主催の経営講演会は、5月26日にグラウンダー寒河江さんを会場に、講演『岐路に立つ』〜いま、求められる経営者の気骨〜と題し、法人スパーバイザー宇都野一氏、『倫理を通して学んだ実践』の事業体験報告では、守谷市倫理法人会相談役の根本美氏のお二方を講師にお迎えし開催されました。講演の内容は勿論、参加された方々を感動納得させ、倫理の教えが実感出来る素晴らしいお話でした。

私は昨年まで経営講演会に聴講参加をさせて頂いておりましたが、この度は実行委員としての立場で参加をさせて頂きました。事前の



打ち合わせ会合、聴講前売り券の販売、当日の役割分担等々、講演会の大成功の為に多くの方々の大変なご苦勞を感謝し、講演をして頂いた講師の方々、会場まで足を運び聴講参加を頂いた方々、そして会運営の為にご尽力を頂いた実行委員の方々に感謝を申し上げ、今後更なる倫理の教えの普及拡大を切に願ってやみません。

「策略」にも、
敢えてのつてみる

広報委員長 今田由美子

天童市倫理法人会に入会と同時にFAXが流れてきた。そこには、役員名簿が記載されていて、良く見ると、広報委員長の所に私の名前があるではないか!? ワタシ何も聞いてない。(笑)それは、水沢前会長の策略だった(笑)。

広報委員長が何をされる役割なのかもさっぱりわからずに委員会に出席してみると、県の委員長と副委員長が女性ということもあり、やんわりとした明るさの中で行われたので、新人の私でもすんなりと会話に入ることができた。委員会での報告を役員朝礼時にさせていただき「36号にな

なたか実践報告などを書いてくれる人を決めたいのですが」と言ったら、即全員が「こんたさーん」と。



ええ！ワタシは文章苦手なのだ。そんな中書いたのが『長いものにまかれて見る』(笑)



あつという間の3年間でしたが、本業でも素敵なご縁に恵まれて山形の女を物語る語り劇『零(ゼロ)に立つ』が生まれ、この8月にはシベールアリーナでの公演も実現しました。策略という名の予祝によって成長させていただいた事に感謝いたします。



会長としての二年間を
振り返って

会長 山本隆

今でも忘れもしません二年前の庄内中央倫理法人会のモーニングセミナーの始まる前の事。別室に呼ばれて、歴代の酒田市の三人の会長から手を握られ「次期会長はあなたにお願いします」と言われました。すぐにハイと受ける事が出来ず家に帰ってから妻に相談することに。「次期会長と言われた」と話した瞬間に、烈火のごとく「絶対ダメだ」「仕事に支障をきたす」と言われた事を思い出します。それでも、二日後に「やる事に決め

たから」と話をしたら「勝手にやれば」と激励の言葉を頂いてからのスタートでした。

まずは、会の運営から考えれば同じメンバーが長年役員でいると色々な面で組織疲労が起きているように感じたので、新しい会員を増やして新しい流れを作る時期だと思い、高い普及拡大目標掲げましたが、まだ道半ばの状態です。

また、当初のモーニングセミナーでの会長挨拶では、何を話したらいいの戸惑いながら、人の話を聞く側

と話す側では自分の持つ感覚が全然違う事に驚きました。



それでも、二年間皆勤で出来た事が自分にとって一番の財産となりました。何はともあれ二年間の会長の役目を終える事が出来るのは役員、会員、会場を提供して頂いている「セントラルホテル」及び事務局のおかげだと感謝しております。

次年度は単会の普及拡大委員長を拝命し、新しい若い人材を発掘するスカウトの役目を果たしますので、今後とも宜しくお願いします。「感謝」



「ありがとう」 との出会い

朝礼委員長 小屋茂



6月のモーニングセミナーにて、初めての講話を致しました。四十五分間話続けられるか？話がまとまるか？心配でしたが、なんとか皆さんに聞いて頂けたかと思えます。その内容を少しご紹介します。

倫理法人会加入前、家庭倫理の会に入会していた頃に、ある会員の方から「ありがとう」のシールを、渡されました。その方とは、講演会や会合で度々会うようになりましたが、平成二十年頃に、病気で亡くなったとの事でした。このままだと「ありがとう」の言葉や、その方も忘れられてしまつと思ひ、奥様にこの「ありがとう」シールを作っていたいかと頼みしたら、快く承諾を得ました。

最初は小さなシールでしたが、自動車に貼るのもいいかと思ひ、大きなものを作って車に貼り町中を走りまわした。初めは皆さんから笑われることもありましたが、貼っていると遠くからも目立つので、すれ違う人にも挨拶されるようになりまし。今では、会社まで貰いに来てくれて、シールを貼ってくれている人が多くなりました。そしてもう一つ、童画家の我彦秀光氏の童画をシールや「ピー」にして皆さんに配っております。現在、大変人気です。

何事もやり続ける事の大切さ、やり続ければ花が咲いてくるのではない、これからもトンドン広めて行きます。



ブナ文化フォーラムに参加して

専任幹事 谷江正照

一本のブナの成木は約30万から40万枚の葉をつけているそうです。

雨が降った際には、一枚の葉っぱの表面に約1ccの水を保持し、約3〜400リットルの水をブナの葉っぱの表面に保水します。

役目を終え地面に落ちたブナの葉は、10年かけて腐葉土になり、その過程で、葉脈がのこり、積み重なった葉脈は細かな編み目となり、適度に土を保持しながら雨水を濾すフィルター役割を果たしながら土に帰っていくのだそうです。

この様な過程で、ゆつくりと雨水や雪解け水が浸みこむ事で、大雨災害になるほど沢山降った水が一度に地中に行かず、地表が保持され、土砂崩れ等を防ぎ、更には私たちが飲むおいしい水が出来るのだという事を講師から教えていただきました。

私も表層的にはこのようなサイクルは知っていましたが、ブナの葉が10年かけて土にかえる事、その葉脈が見えないところで大地の保全の基礎の一部をなしていることは大変な驚きでした。

またブナの新芽は芽吹いても、周りのブナの木が役目を終えて朽ち空間が開くまで、じつと時を待ちつづけ、その後勢いをつけて伸びていくのだそうです。

ブナは一枚の葉に1ccの水をまとい、落ち葉は



10年かけて土にかえり、新芽はじつと時を待つ。小さなことをコツコツすることを忘れがちで、すぐに結果が出せない事を悲観的に考えがちなのに、今の自分に必要なものを示して頂けたなと感じました。

途中の片貝沼では人の手が入った事で、失われたものがある事、そしてそれは元には戻らない事も知りました。

今回のブナ文化フォーラムで学んだことは、変えていくもの、変えてはいけないものを知るために、こつこつと学んで行き続ける事、それには現地で実際に見聞きする事が大切だと感じました。

そして何より学んだことを身近な人に伝える事をしっかりとやっていく事が一番と感じました。もちろん懇親会が楽しかった事は言うまでもありません。二次会後、五十嵐会長と夜の集いをした事も良い思い出です。

企画頂きました、柴田ブロック長はじめ、山形Aブロックの皆様へ感謝致します、有難うございました。

平成28年度 女性倫理講演会 「運命をひらく3つの習慣」

去る6月25日(土)平成28年度女性倫理講演会を山形ビッグウイングにて開催致しました。講師は株式会社アイテラスの社長であり、世界1のエステティシヤンの称号を持つ今野華都子氏。「運命をひらく3つの習慣」というテーマでご講演いただきました。

世界各国で講話をされている人気の高い先生の為、昨年8月には日程予約をさせていただきました。会員以外のファンの講演会参加希望のお声もあり、会場も例年より収客力の

ある会場とし、武田由香理副委員長を中心に、万全を期して開催の運びとなりました。

お陰様でチケット販売308枚、当日参加240名越えのたくさんの方に協力、ご参加をいただき、盛會に終わる事が出来ました事、心より感謝申し上げます。講演会にあり、ご挨拶をいただきました五十嵐県会長をはじめ企画運営に尽力くださいました女性委員会の皆様、各単会の皆様、誠に有難う御座いました。

今野先生は宮城県出身で、夫のりストラを期に「今度はお母さんが頑張りなさい」という声を感じ、友達

がネイル等の美容業をしている事に着眼し通信教育で習い研究。自身のエステサロンを経営し成功。第1回LPGインターナショナルコンテスト、フェイシャル部門にて日本最優秀グランプリを受賞。更に2004年12月には、世界110ヶ国の中で最優秀グランプリを受賞し世界1のエステティシヤンの称号を得ました。

そして興味深かったのが人材育成や顧客満足のお話。印象が暗く、礼儀もなっていないアルバイトも「この娘うちで辞めさせたら何処かで育ちますか？」と受け入れ育て上げるエピソードや、放送局からの取材も、有名になるとお客様に迷惑がかかるとお断りするなど、独特の判断基準や人生観に深い人間力を感じました。

その後、負債38億「タラサ志摩SPAアンドリゾート」の社長を引き受け、誰もが失敗したこのホテルを見事立て直しました。「笑顔」と「肯定的ハイ」と「相手の話にうなずく」。この3つを習慣にする事によって運命は大きく開いてゆく！お互い理解し合える回路が生まれ皆があらゆる部所

をフォローする様になった。ホテルが光っているのでも、私が光っている訳でもなく、皆が光っているのですよ。人を作り、経営も反転させ素晴らしい経営者としての手腕を発揮されました。そして伊勢神宮のおひざ元である事から古事記を学び現在も「華都子塾」を持ち全国各地でたくさん

の塾生に講義されています。まさに、神の手と神の心を持つ素晴らしい方でした。その他、多くのご活躍は沢山の著書を是非ご覧いただき、今野先生の世界に触れ、更なる開運に繋げていただけましたら幸いです。

お陰様で平成28年度の女性委員会メインイベントを無事終了する事が出来、改めて皆様へ感謝です。女性委員会は、これからも女性の目線で更に倫理法人会に貢献して行けると確信致しました。今後ともご支援ご協力の程お願い申し上げます。報告とお礼にかえさせていただきます。

山形県倫理法人会
女性委員長
那須喜美子



感動の 活力朝礼 コンテスト



「朝礼は企業活性化と変革の原点」
「会社発展の元は朝にあり!」
「朝礼で見違えるほど社風が良くなります!」

と、様々な実践の名言があるように、朝礼委員会の主な目的は朝礼で会社や個人を元気にすることです。

この度、5年間休止していた活力朝礼コンテストの再開提案を県役員会や単会の皆様に賛同を得て、6月25日に第4回「活力朝礼コンテスト決勝大会」を開催する運びとなりました。大会のコンセプトは「どんな会社も取り入れてみたくなるような、大げさ過ぎず整然と美しい朝礼」です。発表時間はチーム10分以内、また出来るだけ会社単位での実演とし、倫理法人会において薦める形式の3つの要素「挨拶」「ハイの実習」「職場の教養の輪読」を取り入れた内容としました。

県内4ブロック大会が6月1日の置賜ブロックを皮切りに行われ、南陽市文化会館には6チームが揃い審査員もその緊張した雰囲気特別な思いを抱いておりました。参加人数は一人から十人までとしましたが、米沢市からなんと「二人朝礼」での発表もあり会場の皆様には特に興味をもって見学をしていただきました。

予選二日目、6月2日は寒河江シンフォニー本館が会場です。村山Bブロックの5チームの実演は工夫した内容の発表が目を引き応援団や単会ごとの見学者も多く熱気に包まれる会場でした。

庄内ブロックは6月11日庄内町商工会館において参加4チームで行われ女性だけ10人を揃えたチームの発表もあり会場が明るい笑顔で包まれた心に残る大会でした。

6月14日ヤマコホール村山Aブロック予選会、会場も凛とした雰囲気の中選考審査が行われ6チーム出演のすべ

てが企業での参加で、毎朝実施している朝礼の情景が垣間見え感動いたしました。演技時間一〇分をきっちり守りながらの若さ溢れるフレッシュな予選会でした。
ブロック予選会四会場とも「決勝大会とはまた違った奥の深い大会だった」「勝ち進めなかったけれど社員の意気込みが変わった」と参加企業様からの反響を頂き開催できた喜びにつながりました。

決勝大会の当日は女性倫理講演会との同日開催とし山形ビッグウイング・大会議室で行われ、本選にふさわしい大きな会場で8チームの皆様はもちろん、見学者と応援の方々の期待は最高潮となりました。

結果、最優秀賞は(株)ハイテックシステム様。一糸乱れぬ動作、社是やセブンアクト唱和、個人の目標発表など様々なエッセンスを取り入れた堂々の実演は鳥肌が立ちました。優秀賞は「二人朝礼」コンテストでは常連の見た目も動作も爽やかな(株)アサヒマーケティング様と、女性のみ編成がハツラツとした美しさで魅了した(株)ひまわり様。特別賞は二人朝礼の良き手本となる(株)ほけんショップ+様でした。各チームが真剣で純粋に優勝を目指して毎日練習に励んで来られた結果であったと思えます。審査発表の瞬間にも一言一憂、抱き合って喜んでおられた光景は、まさに平日頃の「明朗、愛和、喜劇」のあらわれ。地域の未会員の企業様にも広く伝えたい感動の場面でした。選手の皆様お疲れ様でした。審査委員を代表して総評を頂いた有坂宏一 方面長からも全国各地で開催されたコンテストの中でもレベルの高い素晴らしい大会であったとお褒めの言葉を頂きました。

今回ご協力を頂いた各単会の皆様や開催の中心となり力を発揮してくれた朝礼委員会の皆様には改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

朝礼委員長 宮下徹

最優秀賞

山形市中央倫理法人会
(株)ハイテックシステム



優秀賞

鶴岡市倫理法人会
(株)ひまわり



優秀賞

山形市倫理法人会
(株)アサヒマーケティング



特別賞

米沢市倫理法人会
(株)ほけんショップ+プラス



第4回 活力朝礼コンテスト ブロック別エントリー企業

ブロック	法人会	企業名
置賜	米沢市	(株)ほけんショップ+ (プラス)
	上山市	(株)片桐製作所 (Bチーム)
	米沢市	(株)エフ・シー・エス
	長井市	単会役員混成チーム
	上山市	(株)片桐製作所 (Aチーム)
	南陽市	単会役員混成チーム
村山B	天童市	(株)アイタックル
	天童市	山形中央観光 (株)
	新庄最上	単会役員混成チーム
	寒河江市	(株)カイン電器
庄内	北村山	(株)タケダ自動車
	鶴岡市	(株)ひまわり
	庄内中央	(株)大商金山牧場
	庄内中央	関東自動車興業 (株)
	酒田市	単会役員混成チーム
村山A	山形市中央	(株)ハイテックシステム
	山形市	(株)アサヒマーケティング
	山形市中央	夢成山形 (株)
	山形市	リコージャパン (株)
	山形市蔵王	山形日産&エム・エス・アイ (混成)
	山形市	(株)サニックス

■ 決勝進出チーム

